

平成30年度 第3回市長タウンミーティング概要

と き：平成30年4月15日（日）
午後2時～3時30分
ところ：南公民館
参加者：122人

○市長あいさつ

(市長より、平成30年度の施策・予算についての説明が行われました。)

○意見交換

質問(女性)

私は留守家庭児童指導室で指導員をしています。利用者が非常に増えてきていますので、幾つかお願いしたいことがあります。1つ目は、施設の増設で、できれば市直営でお願いしたいと思っています。2つ目は、現在の職員は全員が非常勤職員ですので、常勤職員の配置をしてもらいたいことです。3つ目は、障害があるお子さんも入室できるようにするために、指導員の増員をお願いします。

以上3点ですが、最後に、市長さんに1年に一回、留守家庭児童指導室の子どもたちの生活を実際に見ていただきたいと思います。よろしくお願いします。

回答(市長)

留守家庭児童指導室について3点のご意見をいただきました。お話にありましたように、保育園から上がってきた子はもちろん、小学生になり親が働き始める子も入室してきますので、利用者は急増している状況です。そのため、平成28年度から29年度の2年間で7室を増設し、これまでの9室から16室に拡大したところです。現在、4年生までの希望者については全員受け入れています。定員によって5年生以上は入れない子もいる状況となっていることから、更なる増設を進めていく必要があると考えています。1点目の市直営についてですが、できればそうしたいとの思いですが、まず、場所の確保ができるかという問題があります。これまでに様々な工夫をし、場所の確保に努めてきましたが、これ以上の場所の確保が大変厳しい状況にあると感じています。ただ、留守家庭児童指導室の枠を広げることについては、最優先に取り組む必要があると考えています。

2点目の常勤職員の配置については、そういった声もあることは承知していますが、留守家庭児童指導室という時間が限られている業務では、勤務時間の関係など難しい課題もありますので、慎重に検討する必要があると思います。

3点目の障害があるお子さんの対応については、障害がある方のための施設である放課後等デイサービスもありますので、そうした施設を活用していくことも重要ではないかと考えています。

最後に、留守家庭児童指導室への訪問についてですが、私も現場の様子を知っているつもりですが、機会をみて訪ねてみたいと思っています。

質問(男性)

犯罪抑止のために町会内に防犯カメラを設置したと伺っていますが、南町には何台設置してあるのでしょうか。また、撮影された内容はどの程度の期限で更新されるのでしょうか。

次に、蕨駅西口再開発についてですが、再開発というと、道路の変更や大規模な建物を建てるといったイメージがありますが、その中で公共公益施設をどうしていくのか、今の段階で考えていることを教えてください。

回答(市長)

防犯カメラについては、37ある町会の皆さんにご協力いただき、市内全域に140台設置しました。町会ごとの台数については、1町会2基の基準に加えて、町会によって区域の広さが違いますので、町会間で調整いただき、南町地区については、全部で23台となっています。設置については、すべての町会において近隣住民の合意を得た後、町会からの申請を受け、市で設置していますので、特に苦情もなくスムーズに進めることができました。万一、防犯カメラに自宅の玄関や窓が写ってしまう場合には、その部分をマスキングして隠すなど、プライバシーには十分配慮しています。

また、撮影内容の更新に関しては、10日間程で上書きされ、前の映像は消去されます。なお、撮影内容は、事件の捜査以外では閲覧できないこととし、その際も警察から市に申請していただき情報提供しています。

市内の犯罪件数は平成15年の3046件から去年は871件と3分の1以下に減少しました。そのことから一定の効果を発揮してきていると感じています。

次に蕨駅西口再開発については、老朽化した駅前広場の整備や魅力的な商業施設の誘致、駅前にふさわしい公共公益施設の整備などを通じて、まちのにぎわいや活性化、市民の皆さんの利便性の向上につながる内容となっています。同時に、市の財政負担を軽減するため、駅前広場については、従前の計画にあ

ったペDESTリアンデッキ（高架となっている歩行用の通路）をやめて拡幅の面積を抑制するとともに、公共公益施設についても、過度な整備は行わない方向で進めていきたいと考えています。なお、南町地区から運ばれてきたケヤキの木は、駅前広場のシンボルとなっていますので、整備の中で残していきたいと思っています。

質問(男性)

街なかAEDステーションの件ですが、コンビニやガソリンスタンドに設置するとのことですが、設置するお店がどこにあるか分かるように啓発していただくとともに、店員の方への講習会も必要だと思います。

また、防災に関してですが、備蓄している食料品や飲料水などの消費期限があるものへの対応について教えてください。

回答(市長)

街なかAEDステーションは、市内24時間営業のコンビニエンスストアやガソリンスタンドにご協力いただき、市がAEDを設置する事業で、これにより、市民の皆さんは夜間を含めて自由にAEDを使えることができます。

事業の開始は6月を予定していますが、設置店の情報については、今後、広報紙やホームページでお知らせするとともに、埼玉県AEDマップへの掲載もしていきます。また、店員の方への講習会とのことですが、このAEDは、あくまでも市民の皆さんに使っていただくためのものですので、市民の皆さんが、万一のときに落ち着いて行動を取っていただくために、消防署において、AEDの使い方が学べる普通救命講習会を行っています。ぜひ、多くの皆さんにご参加いただきたいと思います。

次に、備蓄している食料品や飲料水に関してですが、市では消費期限をすべて管理していますので、期限が残り1年ほどになった場合、防災訓練などで、できるだけ市民の皆さんに活用していただけるよう工夫しています。

質問(女性)

羽田空港の機能強化の関係で、蕨市上空が飛行ルートになると伺いました。このことについて危険なことだと不安を感じていますが、市のこれまでの対応、今後の騒音対策などについて教えてください。

回答(市長)

国は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどに向けて、国際線増便を図るための機能強化の検討が進められており、その中で、蕨市の上空

も飛行するルート案が示されています。そのため、埼玉県と上空を通過する自治体同士で連絡協議会を設置し、この間、国に対して、上空を飛行することへの不安や騒音の懸念などについて意見を伝えたり、説明会の開催を求めたりするなどの取り組みをしています。今後も連絡協議会を通じて、安全面、騒音への不安やその対策などについて国に確認し、必要に応じて要望を行っていきたいと考えています。

質問(女性)

以前、健康アップステーションでサポーターとしてお手伝いをしていました。今後、この事業は、事業所に依頼するのではなく、市民サポーターを育て、市民主体で実施できる事業にしていくことが大切だと感じていますが、市長さんのお考えをお聞かせください。

回答(市長)

超高齢社会への取り組みとして、平成27年度から3年間、埼玉県の健康長寿埼玉プロジェクトのモデル事業として、健康づくりのノウハウを有する事業所に委託し、データの分析、検証などをお願いしています。今年度も引き続き委託をしていますが、将来的には、健康づくりの輪を広げ、市全体で取り組んでいくことが大切だと考えています。これからも皆さんのお力を借りながら、楽しく健康づくりをできるようにしていきたいと思っています。

質問(女性)

市内の至る所にナガミヒナゲシが咲いています。旧警察通りをよく通りますがそこにも咲いており、サツキが枯れてしまっている状況が見受けられます。ナガミヒナゲシは、繁殖力強く、他の草花を駆逐してしまう植物ですので、市をあげて駆除することはできないでしょうか。

回答(市長)

ナガミヒナゲシは、お話いただいた通り、繁殖力が強く、他の草花を駆逐し、生態系に影響を及ぼしかねないことから、広報蕨4月号や市のホームページに掲載し、市民の皆さんに駆除への呼びかけをしています。まずは、多くの市民の皆さんに認識していただき、駆除にご協力をいただければと思っています。